

# PEM+CBDCA+Bevacizumab 療法

## 3 週毎 4~6 コース予定

疾患名 非小細胞(非扁平上皮)肺癌

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

主治医 \_\_\_\_\_ 指導医 \_\_\_\_\_ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

### スケジュール

		day1
ベバシズマブ	15 mg/kg	↓
ペトレキセド	500 mg/m <sup>2</sup>	↓
カルボプラチン	AUC 5 or 6	↓

【注意】 \* ベバシズマブの点滴時間は初回投与時は 90 分かけて点滴静注、2 回目の投与は 60 分間で行って良い。それ以降は忍容性が良好であれば、30 分間投与でも良い。

\* ペトレキセド投与の 7 日以上前よりパンピタン末を 1g 分 1 で内服開始。<sup>注1</sup>

\* ペトレキセド投与の 7 日以上前より

**メチコバル注 500 μg 2 A(1 mg)を筋注(以後 9 週間毎)。<sup>注2</sup>**

注 1: 投与中止または終了する場合には、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する。

注 2: 投与期間中及び投与中止後 22 日目まで 9 週ごと(3 コースごと)に 1 回投与する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1C を内服

- |                                       |                      |
|---------------------------------------|----------------------|
| ① 生食 500 mL で血管確保                     | 維持(20 mL/時間)         |
| ② ベバシズマブ + 生食 適量 (全量 100 mL)          | 点滴静注(90~30 分)        |
| ③ パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL          | 側管静注                 |
| ④ デキサメタゾン 4.95 mg (1.5 mL) + 生食 20 mL | 側管静注                 |
| ◎メインの生食でフラッシュ                         |                      |
| ⑤ ペトレキセド + 生食 100 mL                  | 点滴静注 10 分(600 mL/時間) |
| ◎メインの生食でフラッシュ                         |                      |
| ⑥ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液 250 mL            | 点滴静注 60 分(280 mL/時間) |

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

PEM+CBDCA+Bevacizumab 療法

Day 2, 3 アプレピタントカプセル(80mg) 1C 1×朝 内服

Day 2-4 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 1×朝 内服

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ペメトレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						